

港区まちづくり マスタープラン

芝地区

意見交換会ニュース vol.2

令和8年1月

芝地区で第2回意見交換会を開催しました

社会経済状況など、港区を取り巻く環境が大きく変化していることから、区では「港区まちづくりマスタープラン」の改定に取り組んでいます。改定に当たっては各地区（芝地区、麻布地区、赤坂地区、高輪地区、芝浦港南地区、台場地区）で意見交換会を開催し、多くの皆様に参加いただきました。



芝地区の第1回意見交換会は令和7年7月16日に開催し、「地区の魅力」「地区の課題」について意見交換しました。第2回意見交換会は令和7年12月23日に開催し、当日は、区より、マスタープランの概要や第1回意見交換会の結果、地区の魅力・特性、課題等について紹介後、「実現したいまちの将来像」や「地区の課題を解決するための取組」をテーマに意見交換しました。主な意見を次頁にまとめています。



まちづくりマスタープランとは

港区のおおむね20年後を見据えた、まちの将来像、まちづくりの方針や取組等の考え方を示す計画です。都市計画に関する土地利用や道路・公園の整備などハード分野を中心に、防災、環境、国際化、観光、福祉、子育て、環境、文化、健康増進など幅広くソフト分野の視点を取り入れて、まちづくりの方向性を示します。

区民意見交換会

区民意見交換会では、地域の実情等をお聞きするとともに、地域の魅力・地域が抱える課題やまちの将来像についてお伺いし、把握することを目的に開催します。ご意見を骨子案や素案に反映させることで、実態を踏まえた実効性のあるマスタープランにつなげていきます。



当日の主なご意見

— 芝地区のまちの将来像や実現するための取組案について、ご意見をいただきました —

まちの将来像／将来像を実現する視点

- ・ 将来像を実現するための取組案

土地利用・活用

区民・企業・行政が一緒にまちづくりに取り組むまち

- ・ 区民・企業・行政の意見を対等に反映できる場を設ける
- ・ 再開発の際に住民が意見を言える窓口を設ける
- ・ 開発前の敷地で地元への説明会などイベントを行う

開発を契機とした地域課題の解決や周辺まちづくりと連動した整備を進める

- ・ 大規模再開発を契機として、住環境の改善やエリアの防災力の強化、高齢者がメリットを享受できるような取組を行う
- ・ 開発の敷地内だけでなく周辺を含めた複合的な整備を進める
- ・ 再開発による周辺環境への影響(ビル風等)に配慮した計画をつくる

住宅・生活環境・地域コミュニティ・防犯

新旧の住民の交流促進の場の整備

- ・ 古くから住む住民と、新しく入ってきた住民同士が互いに関係性を築く機会をつくる
- ・ 行政主導で地域コミュニティが利用できる拠点や場を整備する

誰でも使える場があり、地域イベントが盛んなまち

- ・ 公園や公共空間など地域住民が活動できる場を増やす(町会等でなくても利用しやすくする)
- ・ ゴミ拾いのための清掃用具など、地域活動に必要な用具の貸出・申請などのハードルを低くする

防災・復興

開発を契機としたエリア防災力の向上

- ・ 開発敷地だけでなく開発を機に周辺のまちも一緒になって防災力を高める基盤整備を行う
- ・ 防災イベントを地域ぐるみで行う

細街路や旧耐震ビルの防災対策を進める

- ・ 新橋駅周辺の細街路の防災対策を進める
- ・ 旧耐震基準のビルを再開発によらず、補修・改修を進められるようにする

道路・交通

安全で快適な道路空間が整備されたまち

- ・ 雨の日や夏の暑い日でも歩きやすい道路を整備する
- ・ 歩道の狭い箇所の拡幅や歩きやすい歩道を整備する

小回りのきくモビリティの導入など

- ・ 地区内で小回りの利く便利なモビリティを導入する
- ・ 虎ノ門周辺でちいばすの頻度を増やす

自転車や電動キックボードの走行環境・マナーの改善

- ・ 駅周辺の駐輪場、利便性の高い駐輪場整備を進める
- ・ 自転車走行レーンを整備する
- ・ 電動キックボードの走行ルールの周知を強化する

緑・水

歩きやすく防災力も高い街路が整ったまち

- ・ 街路樹にイチチョウを採用するなど、夏の緑陰による酷暑対策や防災力向上を図る

緑の景観の保全・管理への区民参加

- ・ 芝公園の緑の景観を維持する取組に区民も参加する

国際化・観光・文化

地域資産である緑や歴史的な建物を保全する

- ・ 緑や歴史的建築物をみんなで守る仕組みをつくる

